

## 商工振興課長の仕事宣言！ 進行管理表

商工振興課長 佐藤 道夫

<b>①重点施策項目名</b>	魅力ある商店街づくりを進めます
<b>②目標値</b>	中心商店街の空き店舗率 〔平成29年度〕 (現状値) 12.9% ⇒ (平成29年度末) 10.0% 〔後期基本計画期間〕 (平成26年度) 13.1% ⇒ (平成32年度末) 5.0%
<b>③今年度の取組方針</b>	・商店街の活性化と賑わいづくりを行うため、鳥栖市商業活性化推進協議会、鳥栖市商店街連合会が取り組む活動に掛かる経費を補助し、支援を行うことで、魅力ある商店街づくりを進めます。
<b>④上半期の取組内容</b>	・鳥栖市商業活性化推進協議会の幹事会、研修会、先進地視察等を通じて、駅周辺まちづくりに関する意見交換し、中心市街地の賑わいづくりや今後の活性化策について議論しました。 ・鳥栖市商店街連合会において、商店街の賑わいづくりを図るイベントについて協議しました。
<b>⑤下半期の取組内容</b>	・鳥栖市商業活性化推進協議会では、幹事会を開催し、商店街の歩行者通行量調査の実施や先進地視察、研修会等を開催するなど商店街の活性化や賑わい創出などについて議論しました。 ・鳥栖市商店街連合会では、「商店街のハロウィンパーティ」を行い、中心市街地の賑わい創出を図りました。
<b>⑥数値目標の結果</b>	中心商店街の空き店舗率 10.0% (H29.12月現在) 140店舗中14空き店舗
<b>⑦成果と課題 (次年度に向けて)</b>	・空き店舗率の年度目標値が10.0%と目標を達成しています。 ・近年の空き店舗率は、微減であるが改善傾向にあり、新規出店業種は、これまでの飲食店以外のサービス業が多く出店しております。 ・今後も引き続き、商店街の活性化や賑わい創出等に取り組む関係団体の支援や情報提供などに取り組んで参ります。

### ◇所管部長の指示

#### 上半期

「魅力ある商店街づくり」という目的のため、今後も意見交換等を積極的に行うこと。  
また賑わいづくりという観点では、効果的なイベントとなるように努めること。

#### 下半期

引き続き、効果的な意見交換等を行うと共に、魅力ある商店街となるためのイベント等の研究も継続すること。

## 商工振興課長の仕事宣言！ 進行管理表

商工振興課長 佐藤 道夫

<b>①重点施策項目名</b>	観光客の受入体制づくりを行います
<b>②目標値</b>	観光施設・イベント等の集客数 〔平成29年度〕 (現状値) 6,593,718人 ⇒ (平成29年度末) 6,650,000人 〔後期基本計画期間〕 (平成26年度) 1,187,911人 ⇒ (平成32年度) 6,800,000人
<b>③今年度の取組方針</b>	・鳥栖市を訪れる人が心地よく滞在を楽しみ、リピーターとして再び訪れてもらえるよう、鳥栖観光コンベンション協会等と一体となって新鳥栖駅観光案内所や鳥栖プレミアム・アウトレットでのおもてなし体制を整え、市内観光情報等の発信を行います。
<b>④上半期の取組内容</b>	・新鳥栖駅観光案内所やサガン鳥栖ホームゲーム、まつり鳥栖等のイベント等において、来訪者などを対象におもてなしや観光・物産等の情報発信を行いました。
<b>⑤下半期の取組内容</b>	・上半期と同様、新鳥栖駅観光案内所でのおもてなしや集客を図る長崎街道まつり、大山祇神社ライトアップ及び弥生まつりなどのイベントを開催し集客促進を図りました。また、12月と3月には、鳥栖プレミアム・アウトレットにて、来場者の市内回遊を図るため、とす！トリップマルシェ（観光物産展）を開催しました。 ・佐賀県が3月17日から翌年1月14日まで開催する肥前さが幕末維新博覧会に関し、「鳥栖サテライト館（中富記念くすり博物館内）」の開設と集客促進に向けた協議を県と実施しました。
<b>⑥数値目標の結果</b>	観光施設・イベント等の集客数 6,603,000人（H29.12公表によるH27佐賀県観光客動態調査）
<b>⑦成果と課題（次年度に向けて）</b>	・今後も引き続き、来訪者のおもてなし、各種イベントの開催、観光・物産などの情報発信等に取り組み、集客数の向上に努めます。 ・明治維新150年記念事業として、本市の幕末から明治維新期の偉業・偉人の顕彰事業やイベント開催等を計画しており、更なる集客促進に努めていきます。

### ◇所管部長の指示

上半期

リピーターにつながる「おもてなし」については継続して取り組むとともに、新たな取り組みについても研究を継続すること。

下半期

明治維新150年記念事業については、関係機関と協議、協力し、適切に対応すること。

## 商工振興課長の仕事宣言！ 進行管理表

商工振興課長 佐藤 道夫

<b>①重点施策項目名</b>	新産業の集積を図ります
<b>②目標値</b>	製造品出荷額等 〔平成29年度〕 (現状値) 3,399億円 ⇒ (平成29年度末) 3,500億円 〔後期基本計画期間〕 (平成26年度) 3,381億円 ⇒ (平成32年度) 3,930億円
<b>③今年度の取組方針</b>	・企業誘致を図るため、企業誘致の受け皿となる新産業集積エリア整備事業を着実に推進するため、用地取得及び造成工事に着手します。
<b>④上半期の取組内容</b>	・開発予定地内の用地取得や地元調整に努めました。 ・工事着手に向けて関係機関と協議を行いました。
<b>⑤下半期の取組内容</b>	・開発予定地内の用地取得や地元調整に努めました。 ・工事着手に向けて関係機関と協議を行いました。
<b>⑥数値目標の結果</b>	・製造品出荷額等 3,743億円 (H27調査速報値)
<b>⑦成果と課題 (次年度に向けて)</b>	・用地取得等に不測の日数を要したため、年度内の造成工事が未着手となりました。 ・新年度は、早い時期に用地取得等を完了し、造成工事に着手します。

### ◇所管部長の指示

#### 上半期

早期の工事着手に向け、地元調整に努めるとともに、関係機関との協議についても鋭意取り組むこと。

#### 下半期

引き続き、地元調整に努めると共に、関係機関との協議も適切に行うこと。

商工振興課長の仕事宣言！ 進行管理表

商工振興課長 佐藤 道夫

①重点施策項目名	創業に関する支援を行います
②目標値	鳥栖ビズ相談件数 〔平成29年度〕 (現状値) 54件(新規) ⇒ (平成29年度末) 70件(新規) 169件(継続) ⇒ 170件(継続) 〔後期基本計画期間〕 (平成26年度) 1件 ⇒ (平成32年度) 100件(新規)
③今年度の取組方針	・市内で起業しやすい環境をつくるため、創業支援相談窓口をサンメッセ鳥栖内に設置し、セミナーの開催等により、しごとづくりや地場産業の育成に取り組みます。
④上半期の取組内容	・創業支援相談窓口へ延べ222件(4月～8月)の相談があり、それぞれの相談に応じて助言や支援を行いました。 ・6月20日、27日に創業支援セミナー入門編を開催し、延べ54名の受講がありました。
⑤下半期の取組内容	・創業支援相談窓口へ延べ158件(9月～1月)の相談があり、それぞれの相談に応じて助言や支援を行いました。 ・10月25日、11月1日に創業支援セミナー入門編を開催し、延べ32名の受講がありました。 ・2月1日、8日に「人材育成」「販路開拓」をテーマに創業希望者向けのセミナーを開催し、42名の受講がありました。
⑥数値目標の結果	鳥栖ビズ相談件数 (H30.1末現在) 34件(新規) 181件(継続)
⑦成果と課題 (次年度に向けて)	・創業に関する相談のほか、セミナーを通じて、14名の創業者を輩出しました。(うち市内での創業者9名) ・次年度においても、引き続き、創業支援相談窓口を開設し、創業をはじめ、経営、販路拡大などの各種相談に応じた助言、指導を行い、特に、創業後のフォローアップを強化していきます。 ・創業支援セミナー入門編を開催し、「自身の能力を活かして起業したい人」の掘り起こしを行い、雇用機会の創出に取り組みます。

◇所管部長の指示

上半期

鳥栖での起業を促進するように、相談者への対応を適切に行うこと。

下半期

起業意向の人材発掘につながる取り組みを継続して、研究すること。